



CEReS

News Letter No. 30

Center for Environmental Remote
Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング

研究センターニュース 2008年 5月

発行：環境リモートセンシング研究センター

住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857

URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

2008年度第 2回 VLセミナーを開催



4 大学連携バーチャルラボラトリー (VL) の一環として、5 月 8 日に第 2 回 VL セミナーを開催しました。今回は、5 月 1 日付で特任教員として着任された早崎将光 (はやさき まさみつ) 博士に自己紹介も兼ね、これまでの研究を紹介していただきました。セミナーの前半では、東アジア・ユーラシア大陸における前線活動の気候学的研究として、春季の前線活動の経年変化や活発年・不活発年の気温、積雪、低気圧活動

の差を示されました。また、後半では浮遊粒子状物質 (SPM) の高濃度事例の研究について発表があり、SPM の環境基準未達成要因の変化などを指摘されました。今年度からは 4 大学連携 VL 支援室が CEReS205 号室に設置され、特任教員 2 名が在室しております。研究相談など気軽にお越しくだされれば幸いです。また、今後も随時 VL セミナーを開催しますので、積極的に参加いただくようお願いいたします。(文責：山本宗尚)

早崎将光特任教員着任

5 月 1 日より特任教員 (4 大学センター連携「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」) として着任いたしました。4 月までは (独) 国立環境研究所アジア自然共生研究グループ広域大気モデリング研究室において、日本を中心とした東アジアの大気環境に関する研究に従事していました。具体的には、日本国内の大気汚染常時監視局 1 時間値データを用いて、黄砂や光化学オキシダントなどの越境汚染を対象とした大気環境動態調査をおこないました。専門は気候学・気象学で、東アジアにおける総観規模擾乱 (高低気圧) 活動の年々変動・十年規模変動と近年のいわゆる温暖化傾向との関連について、客観解析気象データや地上気象観測値を用いた研究をおこなってきました。本センターでは、蓄積された膨大な衛星データと私の今までの研究成果を連携させ、かつ専門家の方々との議論を通して、地球環境に関する諸問題の理解が深まるような研究をおこないたいと思います。御指導・御鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

注) 最初の記事の写真で講演している方が早崎さんです。

建石隆太郎教授日本リモートセンシング学会会長就任

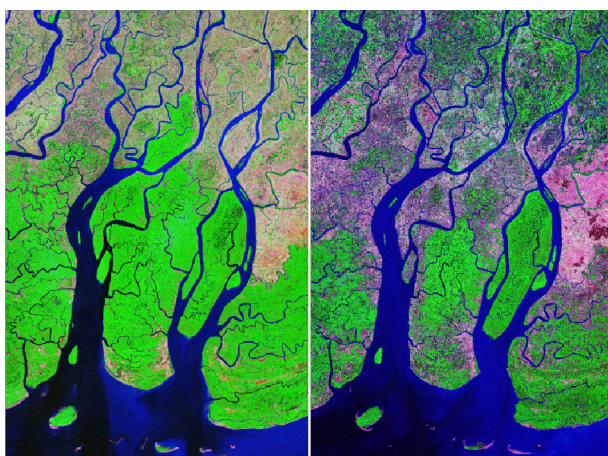


5月22日に開催された日本リモートセンシング学会総会（於東京工業大学すずかけ台キャンパス）において、CEReSの建石教授が第13代会長に就任いたしました。今後2年間にわたり、学会をリードするとともに、環境リモートセンシングの推進にご尽力頂くこととなります。写真は懇親会にて挨拶する建石新会長です。

日本地球惑星科学連合2008年大会において「環境リモートセンシング」セッションを共催

5月25日から20日に4862名の参加者を得て開催された日本地球惑星科学連合大会においてCEReSは日本リモートセンシング学会とともに「環境リモートセンシング」セッションを開催しました。10件の口頭発表と4件のポスター発表を頂き、約50名の参加者とともに環境理解へのリモートセンシングの応用について活発な議論が行われました。2009年度の連合大会は同じく幕張メッセ国際会議場において5月16日から5月21日の日程で開催されます。「環境リモートセンシング」セッションもレギュラーセッションとして開催が決まっておりますので、新しい成果の発表をお願いいたします。

画像紹介 - ミャンマー・イラワジデルタ -



CEReSではGeocover™モザイク画像(NASA)による1990年頃と2000年頃の画像閲覧システムを運用しています。イラワジデルタは稲作地帯ですが、この地域で乾季作が拡大した時期は比較的新しく、90年代に中国製の揚水ポンプの普及が始まってからです。画像の左側が1990年頃、右側が2000年頃ですが、この10年間で開発が進んでいるように見えます。アジアの巨大デ

ルタ地帯では高床式の家や構造、雨季を避けた乾季作の展開、洪水を利用するコルマタージュ灌漑、等の洪水に対する適応が進んでいる地域がありますが、イラワジデルタにおいて最近入植した農民はサイクロンに対して十分な適応策が無かったことが被害が大きくなった理由のひとつかも知れません。時系列衛星画像の判読により、地域における様々な変化、問題を見つけることができます。CEReSでは衛星画像を利用してアジアの環境変動を捉え続けています。